

科目名	インターンシップ		英文表記	Internship		平成24年3月3日		
科目コード	4101							
教員名：眞喜志隆・政木清孝・眞喜志治・4年生学科担任 技術職員名：						作成		
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
機械システム工学科			4年	必	履修	3単位	実習	通年
科目目標	学習意欲と職業意識の向上を図り、実社会で必要な素養・能力・価値観を自覚させる。							
総合評価	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の製作するインターンシップ報告書およびインターンシップ報告発表を各10点満点で評価し、評価書40%・報告書40%・発表20%として、合計点が60%以上で合と評価する。							
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			
	①	仕事の本質を理解し、手順など論理的な思考が実践できる。(A-1)			⇒	企業からの評価で達成度を評価する		
	②	社会の動向や企業での環境対応について理解できる。(C-1)			⇒	企業からの評価で達成度を評価する		
③	企業活動が社会環境にどのように影響しているかを理解し、その債務の重要性を理解できる。(C-2)			⇒	企業からの評価で達成度を評価する			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学		
			○	◎	JABEEプログラム教育目標	A-1, C-1, C-2		
授業概要、方針、履修上の注意	<p>学校教育と就業体験の結合により、学習効果および学習意欲の向上を図り、高い職業意識を育成し、自主性・独創性のある人材の育成を目指す。各種企業・官公庁等での実習(体験)により、修得した専門知識や技術に裏打ちや実社会で必要な素養・能力・価値観の必要性を体験・自覚させ、実社会の生きた知識を身につけさせる。</p> <p>受け入れ先企業の中での体験学習であるため、服装やマナーに関しては十分な注意が必要である。企業によってインターンシップ日数に違いがあるため、実時間が80時間に満たない場合は、事前・事後の企業研究等を課すことによって時間を満たす。</p>							
教科書・教材	教員製作資料							
授 業 計 画								
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習(予習・復習)内容	
	ガイダンス	5	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスする。インターンシップ先の企業研究を行う。					
期末	期末試験	[]						
	インターンシップ	80	夏休み中に実施する					
	成果報告会	5	インターンシップ報告発表資料の作成と報告会を行う					
期末	期末試験	[2]						
		学習時間合計	90	実時間		67.5		
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)						標準的所用時間(試行)		
①								
備考欄								
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は別表を参照のこと。								

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)